

中央アルプス縦走計画書

<期間>

2007 年 10 月 22 日（月）～27 日（土）、うち予備 1 日、エスケープ 1 日

<場所>

中央アルプス北中部、木曽駒ヶ岳～南駒ヶ岳

<形式>

小屋泊単独縦走

<交通費（高速道路使用）>

往路：首都高（市川～高井戸）560 円、中央自動車道（高井戸～駒ヶ根）3500 円

復路：中央自動車道（駒ヶ根～葦崎～高井戸）3300 円、首都高（高井戸～市川）630 円

交通機関：バス（菅の台バスセンター～しらび平）800 円

ロープウェイ（しらび平～千畳敷）1180 円

<行動日程>

10/22（月）

市川～中央自動車道下り小黑川 PA（車内泊）

10/23（火）

小黑川 PA→駒ヶ根 IC→菅の台バスセンター（駐車）

菅の台バスセンター発しらび平行 7:12 しらび平着 7:51 ロープウェイ乗り継ぎで
千畳敷着、8:30～9:00 の間に千畳敷を出発する

千畳敷→宝剣山荘→宝剣山荘デポ、木曽駒ピストン→宝剣山荘→宝剣岳→極楽平→
島田娘→濁沢大峰→檜尾岳→檜尾避難小屋（泊） コースタイム 6:40

10/24（水）

檜尾避難小屋→檜尾岳→熊沢岳→東川岳→木曽殿越→空木岳→赤柳岳→鞍部→
摺鉢避難小屋（泊） コースタイム 6:35

10/25（木）

摺鉢避難小屋→鞍部→鞍部デポ、南駒ヶ岳ピストン→鞍部→空木岳→駒石分岐→
ヨナ沢の頭→マセナギ→池山小屋→タカウチ場→林道終点→駒ヶ岳スキー場下
コースタイム 7:55

駒ヶ根 IC→八王子 IC→高井戸 IC→市川 IC→帰宅

10/26（金） 予備日

10/27（土） エスケープ

<装備>

- 着用物：ニッカ×1、ウール長袖×1、毛下着上下×1、フリース上着×1、雨具上下×1
ウール手袋×1、軍手×2、ソックス大小×2、スパッツ×1、帽子×1、登山靴×1、
靴紐の予備×1
- 行動：アタックザック（80L）、サブザック（40L）、ザックカバー、コンパス、ホイッスル、
ナイフ、山と高原地図「木曽駒・空木岳」、1/25000 地形図×3（木曽駒ヶ岳、
空木岳、赤穂）、デジカメ
- 生活：食料（朝 3、夜 3）、ポリタン（2L）、ペットボトル（1L）、火器ヘッド、
火器カートリッジ×2、ライター×2、コップ&バー、タオル×3、
食器（フォーク&スプーン）、ビニール袋大小、シュラフ、シュラフカバー、
フリース毛布、ロールマット、まな板、ラジオ、天気図、ヘッドライト、
新聞紙×3、電球予備、本、筆記用具、電池予備（テントは持参しない）
- 非常：非常食 2 食分、缶メタノール、サバイバルシート、銀マット、携帯電話、衛生用品、
サポーター、免許証、保険証、ガムテープ、針金

<エスケープルート>

・駒ヶ岳ロープウェイ運行中の場合

木曽駒ヶ岳～木曽殿越間の稜線上の場合→千畳敷へ戻り、ロープウェイを使用して下山
木曽殿越～空木岳間の稜線上の場合→状況により千畳敷へ戻りロープウェイ使用か、空
木岳を経由して駒ヶ根高原スキー場下山かを判断する。

空木岳→南駒ヶ岳間の稜線上の場合→空木岳を経由して駒ヶ根高原スキー場へ下山

・駒ヶ岳ロープウェイ運休中の場合

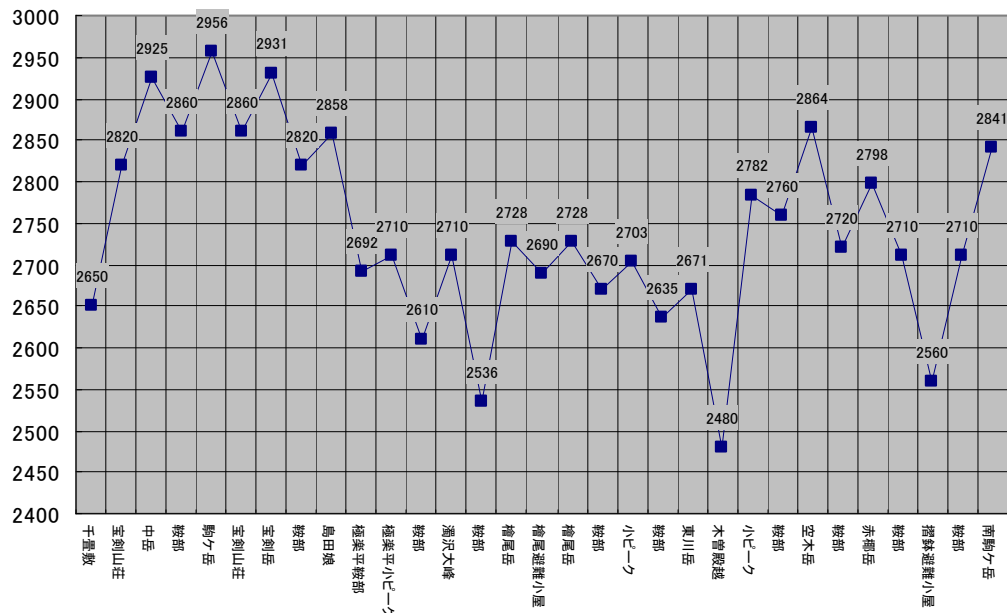
木曽駒ヶ岳～濁沢大峰間の稜線上の場合→千畳敷から蛇腹沢へ下山。

濁沢大峰～木曽殿越間の稜線上の場合→檜尾橋避難小屋を経由して檜尾橋へ下山。

木曽殿越～空木岳間の稜線上の場合→状況により檜尾橋へ下山か駒ヶ根高原スキー場へ
下山かを判断する。

空木岳～南駒ヶ岳間の稜線上の場合→ロープウェイ運行状況に関わらず駒ヶ根高原スキ
ー場へ下山。

稜線の高度表(千畳敷～南駒ヶ岳)



登山者詳細：

(略)

緊急連絡先：

(略)